

〔明治十七年二月〕

- ・ 学校生徒の学術演説会への臨席・聴聞取締に付内達
- ・ 官立・公立学生中不都合の行為にて退学者他の学校への入学を禁ずる達
- ・ 文部権少書記官高橋健三に官報報告掛長兼勤を命ず
- ・ 東京大学法学部中別課法学科を設け生徒を募集の事決定他

府県へ達ノ事

本年中各府県ニ示達セシモノ十九件ニシテ之ヲ區別スレハ規則制定及補正ニ係ルモノノ学校長教員及卒業生徒等ノ任用ニ係ルモノ生徒取締ニ係ルモノノ特置学務委員ニ係ルモノノ教育沿革史編纂ニ係ルモノノ教科用図書ニ係ルモノノ其他雜件數種トス又別ニ内訓ヲ発スルモノノ二件アリ各生徒取締ノ事ニ関セリ茲ニ其要領ヲ摘録スルコト左ノ如シ

明治十六年一月廿三日学校生徒ニシテ妄ニ学術演説会ニ臨席聴聞スルハ教育上不都合ナルヲ以テ特ニ不都合ナシト認メテ許可スルモノ、外ハ臨席聴聞セシメサル様取締ルヘキ旨ヲ内達ス是レ明治十五年七月学校生徒ノ学術演説ノ事ニ係リ内達セシト雖モ是唯自ラ演説スルモノ、取締ニ止リテ未タ他人ノ演説ヲ聴聞スルモノニ及ハス而シテ他人ノ演説ヲ聴聞スルモ亦教育上不都合

合ナルヲ以テナリ○廿四日学校生徒ニシテ公布ニ違ヒ竊ニ政治ニ関スル事項ヲ講談論議スル集会ニ臨ムノ聞ヘアルヲ以テ府知事県令ニ於テ嚴ニ取締スヘキハ勿論尚各学校長教員等ヲシテ平常注意ヲ加ヘ訓戒セシムヘキ旨ヲ内達ス是レ近來往々此事実アルカ故ニ一層其取締ヲ鄭重ナラシメントスルヲ以テナリ
二月五日第一号ヲ以テ教育沿革史編纂ニ付府県庁及学校所蔵ノ旧記其他前儒古老ノ私記口碑ニ資リ学制頒布前ニ係ル諸項ヲ取調フヘキ件ヲ達ス是レ教育沿革史ハ学事万般ノ施設上參案ノ為メ欠クヘカラサルヲ以テ広ク其資料ヲ徴セントスルヲ以テナリ
四月七日第二号ヲ以テ公立学校職員ノ勤務年數年齡及罷免者ノ勤務年數等取調ノ件ヲ達ス是レ教育上諸般ノ事務ヲ処スルニ当リ予メ其標準ヲ知ルノ必要ナルヲ以テナリ○九日第三号ヲ以テ学務委員薦挙規則起草心得第一条中刑法ニ係ル款目改正ノ件ヲ達ス是レ明治十五年来新刑法ノ実施ニ伴ヒテ改正セサル可ラサルヲ以テナリ○十日第四号ヲ以テ府県立学校等設置廢止規則ニ拠リ開申スヘキ学校長教諭助教諭ノ学力及履歷ノ儀ハ任用ノ都度別テ遲滞ナク開申スヘキ旨ヲ達ス是レ該職員ノ進退等ニ就キ往々其開申ノ遲緩ニ屬スルノ弊アルヲ以テナリ○十一日第五号ヲ以テ農学校通則ヲ達ス是レ農業ハ經濟ノ大本ニシテ国家ノ要務タレ氏今日其学校數ノ未タ多カラス其教則等大ニ欠ク所アルヲ以テ普ク其通則ヲ示シ以テ拠ルヘキノ標準アラシメントスルヲ以テナリ○二十八日第六号ヲ以テ府県選舉師範生徒募集規則ヲ達ス是レ文部省直轄東京師範学校ハ務テ良教員ヲ養成シ周子ク各地方へ派遣セントスルノ旨趣ナレトモ來學者ノ屬籍ハ遍ク

各府県ニ涉ラス且卒業ノ後地ヲ定メテ奉職スルノ義務ナキカ為メ其弊亦随テ生スルヲ以テ地方ヲシテ各自公費ヲ給シ規約ヲ設ケテ生徒ヲ選舉セシメ以テ其目的ヲ達セントスルナリ

五月十日第七号ヲ以テ教員品行檢定規則第一条中刑法ニ係ル款目改正ノ件ヲ達ス是亦新刑法ノ実施ニ伴フヲ以テナリ○十九日第八号ヲ以テ自今府県ニ於テ文部省直轄官立学校(師範学校附属小学校ヲ除ク)ノ卒業生ヲ任用セントスルトキハ其卒業ノ学科年月及卒業後職務并研学等ノ履歴ヲ具シテ稟議スヘキ旨ヲ達ス是レ卒業生ノ府県ニ就職スルモノ其去就輕卒ニシテ往々不都合ノコトアルニ因リ其任用ヲ稟議シ其去就ヲ慎重セシメントスルヲ以テナリ 第九号ヲ以テ学校教員品行檢定規則ハ学校長ヘモ適用スヘキ旨ヲ達ス是レ学校長ハ一校ヲ提理監督スルノ任アレハ其品行ノ慎マサル可カラサル毫モ教員ト異ナルナシ而ルニ従来未タ其明文アラサルニヨリ或ハ之ヲ忽視スルノ弊アルヲ以テナリ○二十六日官吏懲戒例并行政官吏服務紀律ヲ以テ府県立町村立学校校長教員及府県立学校書記ヘ適用スヘキ旨ヲ達ス是レ該職員ヲ処スルハ十四年第五十二号及十五年第八号ノ公達ニ拠リ固ヨリ官吏ト同一ナルヘシト雖モ其旨趣未タ一般ニ貫徹セサルヲ以テナリ○三十一日第十号ヲ以テ明治十五年^{十二月}第五十六号公布ニ拠リ中学校等ヲ設置スルタメ特ニ学務委員ヲ置クトキハ其目的等ノ諸項ヲ開申スヘキ旨ヲ達ス是レ該職員ニ係ル施設上ノ如何ヲ査閲スルハ教育上ノ一要件ナルヲ以テナリ 六月一日府県立町村立学校校長教員任用ノ際予メ本人ノ管轄庁又ハ奉職ノ官庁若クハ学校等ニ就キ詳細照会ヲ遂クヘキ旨ヲ達ス

是レ一層其経歴等ノ調査ヲ詳密ニシ職員ノ進退ヲ慎重セシメントスルヲ以テナリ○十九日第拾壹号ヲ以テ従来設置セシ町村立私立学校等ノ調査ハ遲滞ナク開申スヘキ旨ヲ達ス蓋シ此件ハ明治十四年第五号達但書ヲ以テ訓令ヲ下シタリト雖モ府県中往々遷延スルモノアルヲ以テナリ

七月六日第拾貳号ヲ以テ府県立師範学校通則ヲ達ス是レ師範学校ハ教育令中其必設ヲ明示シ教則大綱ヲ以テ其教育ノ方法等ヲ訓示セリト雖モ府県ノ之ヲ執行スルニ至リテハ未タ充分ノ成績ヲ見サルヲ以テ其規模ヲ定限シ前途教員養成ノ道ヲ拡張セシメントスルニ因テナリ○二十七日第拾三号ヲ以テ小学校教員免許状授与方心得第六条ヲ補正シ免許状ヲ授与スルニ際シ予メ品行等ヲ檢定スヘキ旨ヲ達ス是レ免許状ヲ授与スルニ当リテハ教育令第三拾七条但書ノ主旨ニ基キ予メ其品行ヲ精査スヘキニ単ニ其学力ノミヲ檢定シテ品行ノ檢定ヲ忽略スルモノアリ往々不都合ヲ生スルヲ以テナリ○三十一日第拾四号ヲ以テ小学校并府県立中学校師範学校等普通学校ノ教科用図書ヲ撰用シ又ハ變更セントスルトキハ何出ツヘキ旨ヲ達ス是レ教科用図書調査上ノ都合ニヨリ従来府県立学校并小学校教科用図書撰用變更ノ節ハ已ムヲ得ス之ヲ開申ニ止メタリシニ府県ニ於テハ撰定開申ノ上ハ直ニ之ヲ管内ニ布達実施セルカ故ニ其図書調査ノ上若シ不都合ノ条項等アリテ之ヲ禁止スルトキハ一旦購求セシ書籍モ無用ニ帰シ之レカ為メ父兄等ノ苦情モ少ナカラス随テ一般人民ノ信用如何ニ影響ヲ及ホスコトナキニ非ス且教科用図書ノ調査漸ク緒ニ就クヲ以テ予メ之ヲ何出サシムルコト、ナシタルナリ

八月十一日第拾五号ヲ以テ町村立私立学校ノ設置ヲ認可シ之ヲ
開申スルトキハ更ニ経費ノ定額学校長教員ノ履歴ヲ具シ殊ニ私
立学校ハ併セテ設立者ノ履歴ヲ具スヘキ旨ヲ達ス是レ学校ノ施
設ヲ慎重セシムルハ亦是等ノ件ヲ査閱スルノ緊要ナルヲ以テナ
リ○十八日第拾六号ヲ以テ小学校ノ教員ヲ改良スルハ目下緊要
ノ事ナルヲ以テ或ハ教員講習所ヲ設ケ或ハ督業訓導ヲ置ク等適
宜計画シ其施設ノ規則方法等取調伺出ツヘク但既ニ此等ノ設置
アルモノハ其規則方法等此際開申スヘキ旨ヲ達ス是レ目下各地
方教員養成ノ途未タ広カラス随テ其任ニ堪ヘサルモノヲシテ教
授ノ事ヲ負担セシムル等教育ノ進歩ヲ妨クルコト尠ナカラス且
教員ノ職ニアルモノ亦文運ノ進歩ト共ニ銳意ニ學術及教授ノ方
法ヲ講究セサレハ教育ノ成效ヲ期スル能ハサルヲ以テナリ
九月二十九日第拾七号ヲ以テ郡区書記学務担任者ニ係ル開申ノ
件ヲ達ス是レ此開申ハ從來詳密ナリシモ時宜ニ応シ少シク斟酌
シタルナリ

十一月二日第拾八号ヲ以テ当省直轄官立学校学生生徒及公立学
校生徒中不都合ノ行為アリテ退学セシメタル者ハ其情状ニ因リ
当省直轄官立学校及府県公立私立ノ学校ニ入学スルヲ禁スヘキ
旨ヲ達ス是レ生徒ヲシテ其身ヲ慎ミ其業ヲ勉メシメント欲セハ
罪ヲ学校ニ獲ルコトヲ輕視セシムヘカラス且不良ノ生徒ヲ混ス
レハ即チ汚染ノ恐アルヲ以テナリ 第拾九号ヲ以テ明治十六年
学事年報取調条項ヲ達ス是レ毎年ノ例規ニ因ルモノナリ○十五
日第拾号ヲ以テ師範学校卒業証書書式ヲ定メ且從來施行セル
モノモ訂正ノ上開申スヘキ旨ヲ達ス是レ師範学校卒業証書ハ全

国ニ通用スヘキモノナレハ其書式ヲ一定スルハ亦甚タ緊要ナル
ヲ以テナリ

十二月五日第二十一号ヲ以テ府県立師範学校通則中生徒員数ノ
率改正ヲ達ス是レ曩ニ制定スル所其範圍稍狹隘ニ過クルヲ以テ
一層之ヲ擴張スルノ便ヲ与ヘントスルニ因テナリ

直轄部局へ達ノ事

本年中直轄部局へ示達セシモノ二十八件ニシテ之ヲ區別スレハ
学校規則ニ係ルモノ学生生徒ノ取締ニ係ルモノ經費ニ係ルモノ
土地家屋ニ係ルモノ其他雜件數種トス茲ニ其要領ヲ摘録スルコ
ト左ノ如シ

明治十六年一月廿五日内達（府県へ）学校生徒ニシテ學術演説
会ニ臨席聴聞スル者及公布ニ違ヒ窃ニ政治ニ関スル事項ヲ講談
論議スル集会ニ臨席等ヲ為スモノ、取締ノ件ハ其学生生徒ニ就
テモ注意スヘキ旨ヲ直轄学校へ達ス是レ其取締ヲ要スルノ旨趣
府県学校ト同一ナルヲ以テナリ

二月一日十六年度經費中へ金五千円増額交付スヘキ旨ヲ東京師
範学校へ達ス○五日十四年度經費殘金ノ儀当十五年度へ据置ク
ヘキニ付同年度經費ニ併セ使用セントスルトキ事務擴張ニ係ル
モノハ科目金員事由ヲ詳記シ其都度開申スヘキ旨ヲ直轄学校館
院へ達ス 十四年度經費殘余額ノ内金千円内銀貨三拾四円六拾
四錢八厘（大坂中学校）千七百五拾九円貳拾錢壹厘（体操伝習
所）当十五年度へ据置クヘキニ付同年度經費ニ併セ使用セント
スルトキ事務擴張ニ係ルモノハ伺出ツヘク其新規擴張ニ係ラサ
ルモノハ科目金員事由ヲ詳記シ其都度開申スヘキ旨ヲ大阪中学

校体操伝習所へ達ス○六日十五年度経費管繕費へ金五千円別途
 交付スヘキ旨ヲ東京女子師範学校へ達ス○十日十五年度経費管
 繕費へ金貳千円別途交付スヘキ旨ヲ東京教育博物館へ達ス 十
 六年度経費金五百円別途交付スヘキ旨ヲ東京教育博物館へ達ス
 ○十二日十五年度経費管繕費へ金九百円別途交付スヘキ旨ヲ東
 京師範学校へ達ス○十九日支那古典講習科設置費途ノタメ来十
 六年度経費へ金貳千三百円増額交付スヘキ旨ヲ東京大学へ達ス
 ○二十一日文部省所属本郷区本郷元富士町老番地用地内ノ土蔵
 老棟交付スヘキ旨ヲ東京大学へ達ス
 四月二十一日来十六年度経費へ博物標本製造費トシテ金五百円
 別途交付スヘキ旨ヲ東京教育博物館へ達ス○二十四日其校所属
 大阪府下東区大手前ノ町二番地面積千六百五拾八坪五合ヲ陸軍
 省所轄同所三番地及従来道路囲込合面積千四百六拾坪壹勺三才
 ト交換シタルニ付大阪府へ打合授受取計フヘキ旨ヲ大阪中学校
 へ達ス○三十日府県選挙師範生徒募集規則ヲ府県へ達シタルヲ
 以テ諸事不都合ナキ様取計フヘキ旨ヲ東京師範学校へ達ス是レ
 其準備ノ為ニ訓令ヲ要スルヲ以テナリ
 五月四日当十五年度経費中銀貨八万四千円(東京大学) 貳百円
 (大阪中学校) 五百円(東京外国語学校) 貳千円(東京職工学
 校) 五百円(東京図書館) 五百円(東京教育博物館) 四百六拾
 五円(音楽取調掛) ヲ交付シ同数ノ通貨ヲ引去ヘキ旨ヲ東京大
 学大阪中学校東京外国語学校東京職工学校東京図書館東京教育
 博物館及音楽取調掛へ達ス但本年四月十四日其掛ノ伺ニ対シ同
 十八日指令ノ銀貨拾五円モ本文金額中ニ包含ノ儀ト心得ヘキ旨

ヲ音楽取調掛へ併達ス○五日自今其所ニ於テ本邦剣術柔術等ニ
 就キ教育上ノ利害適否ヲ調査スヘキ旨ヲ体操伝習所へ達ス是レ
 其利害適否ノ未タ明瞭ナラサル所アリ后来ノ施設上予メ精究ヲ
 要スルニ因テナリ○十二日十五年度管繕費へ金貳千九百八拾五
 円別途交付スヘキ旨ヲ東京女子師範学校へ達ス○二十三日当省
 中官報告掛施設ノ儀及其処務要項ヲ直轄学校館所院へ達ス○
 二十六日官報告主任ノ者ヲ定メ其人名ヲ当省官報告掛へ通
 知スヘキ旨ヲ直轄学校館所院へ達ス
 六月十四日校舍及附属女兒小学校屋根修繕費トシテ金貳千四百
 円来十六年度ニ於テ別途交付スヘキ旨ヲ東京女子師範学校へ達
 ス
 七月六日府県立師範学校通則ノ件ヲ東京師範学校同女子師範学
 校へ達ス是レ両師範学校モ亦之ヲ体知スヘキヲ以テナリ○十三
 日十六年度経費額ノ儀先般予算調整進達ノ通決定セル旨ヲ所轄
 学校館所へ達ス○十四日十六年度経費へ校舍再築費トシテ金壹
 万貳千五百円別途交付スヘキ旨ヲ東京師範学校へ達ス
 八月九日補助給費生給費規則ニ拠リ其卒業若クハ退学ノ者へ総
 理(学校長) ヨリ職務ヲ示命シ若クハ其就職ヲ許可スルトキハ
 予メ稟議シテ後施行スヘク但該規則ニ拠リ既ニ職務ヲ命シ若ク
 ハ其就職ヲ許可セシモノハ此際其姓名及職務等開申スヘキ旨ヲ
 東京大学東京外国語学校へ達ス是レ単ニ学校首長ニ於テ施行ス
 ルトキハ或ハ文部卿ノ施行上ニ対シ矛盾スルコトナキヲ保シ難
 キヲ以テナリ 生徒寄宿舎并廊下盥嗽所増築費トシテ金貳千百
 六拾円当十六年度ニ於テ別途交付スヘキ旨ヲ東京女子師範学校

へ達ス 十六年度経費へ博物標本製造費トシテ金千円別途交付スヘキ旨ヲ東京教育博物館へ達ス

十月二日教科書并口授用書ハ当省本年第拾四号表式ニ拠リ取調ヘ別ニ各級配当表ヲ添ヘテ伺出ツヘキ旨ヲ大阪中学校東京師範学校東京女子師範学校へ達ス是レ府県学校ト同一ノ關係ヲ有スレハナリ○三日自今其校学年ニ拠リ一覽ヲ編纂印行シ該学年ノ始メ五十日以内ニ差出スヘキ旨ヲ東京職工学校へ達ス 所蔵ノ

図書并器械模型標品等毎学年末ノ調査ヲ以テ分類目録ヲ編纂シ或ハ便宜印行シ毎学年ノ始メ九十日以内ニ差出スヘク但器械模型標本等可成丈和洋両名ヲ記載スヘキ旨ヲ東京職工学校へ達ス

○十九日毎学年ノ一覽編纂方改定ノ旨ヲ大阪中学校東京師範学校東京女子師範学校へ達ス蓋シ該校規則ノ改定ニ随ヒ明治十三年六月九日達編纂方ハ自ラ適切ナラサルニ至レハナリ

十一月二日当省直轄官立学校学生生徒及公立学校生徒中不都合ノ行為アリテ退学セシメタル者ハ其情状ニ因リ当省直轄官立学校及府県公私学校へ入学スルコトヲ禁スヘキ旨ヲ直轄学校体操伝習所へ達ス其理由ハ府県達ノ部ニ述フル所ト異ナルコトナシ

○五日其校敷地トシテ旧昌平館跡地ノ内五百拾六坪六合五勺五才交付スヘキニ付其校敷地ノ内五百拾九坪六勺三才此際返付スヘキ旨ヲ東京師範学校へ達ス○十四日其校所属大阪府下北区五江町壹丁目二番地地坪六千六百五拾六坪三合式勺五才同二拾八番地地坪七百五拾七坪五合五勺合計七千四百拾三坪八合七勺五才并二建家共今般都合ニヨリ売却スヘキ為メ内務省へ返付シタルニ付実地大阪府へ引渡シ公売ノ節該府ト打合相当ノ代価ヲ以

テ売却取計フヘキ旨ヲ大阪中学校へ達ス○十九日十七年度経費額ノ儀東京大学ハ金三拾五万八千七百四拾円（内正貨七万五千円）大阪中学校ハ金貳万六千円東京外国語学校ハ金四万五千四百四拾円（内正貨五百円）東京師範学校ハ金四万四千四百東京女子師範学校ハ金貳万七千五百六拾六円東京職工学校ハ金三万九千八百八拾円（内正貨貳千円）東京図書館ハ金九千七百八拾円（内正貨五百円）東京教育博物館ハ金壹万九千四百四拾円（内正貨五百円）東京学士会院ハ金八千貳百七拾円体操伝習所ハ金八千五百円音楽取調掛ハ金壹万壹千七百拾三円ト定メタルニ付右金額以内ヲ以テ一切支弁ノ目途相立予算取調ヘ差出スヘキ旨ヲ直轄部局へ達ス 其校舍再築費トシテ来十七年度ニ於テ金七万貳千五百円別途交付スヘキニ付右金額ヲ以テ支弁ノ目途相立建築ノ方法取調ヘ伺出ツヘキ旨ヲ東京師範学校へ達ス○二十二日其校外囲煉瓦壁八拾間板塀四拾間新設費トシテ金三千五百拾貳円当十六年度ニ於テ別途交付スヘキ旨ヲ東京女子師範学校へ達ス

十二月三日其学校所年報ハ学年末ノ調査ニ係ル処自今曆年末ノ調査ヲ以テ差出スヘキ旨ヲ直轄学校体操伝習所等へ達ス是レ府県立町村立私立諸学校等皆曆年ノ調査ニ係リ特ニ直轄学校ノミ学年ノ調査ニ係ルハ統計上宜キヲ得サルヲ以テナリ○十七日予備門本分饗正科中ニ体操ノ目ヲ加フヘク但其修業時間等取調伺出ツヘキ旨ヲ東京大学へ達ス○二十一日旧昌平館跡地四百九拾九坪壹合式勺五才并二神田宮本町二十三番地地所五百拾九坪六勺三才ヲ敷地トシテ交付スヘキ旨ヲ東京図書館へ達ス○二十七

日当省直轄部局金銭出納報告順序ヲ定メシニヨリ明治十七年一月以降之二準シ施行スヘキ旨ヲ直轄学校館所へ達ス

処務ノ要旨

(中略)

五月七日文部大書記官辻新次東京府下私立各種学校ノ巡視ヲ始ム蓋シ去年此命アリタレト事務ノ都合ニヨリ未タ全ク畢ラサルニ因テナリ○十日文部大書記官濱尾新二千葉県医学校開校式へ臨席ノ為メ出張ヲ命ス○十五日女教員女生徒服飾等ノ件ヲ府県ニ通知ス是レ従来此等服飾ノ異様ニシテ人ノ批評ヲ招ク者往々コレアリ然ルニ学校ハ教化ノ本原ナレハ殊ニ警戒ヲ加ヘテ其弊風ヲ匡正セサルヘカラサルヲ以テナリ○二十二日東京大学教授兼法学部長文部少書記官穂積陳重ニ東京府下各法学校ノ巡視ヲ命ス○二十三日官報報告掛ヲ置ク○二十四日音楽唱歌ノ件ヲ府県ニ通知ス是レ音楽唱歌ノ教育上裨益アルハ勿論ナレト苟モ教授ノ順序楽器ノ適否楽譜歌曲ノ撰撰等慎マサルトキハ教育上却テ弊害アルヘキヲ以テ之ヲ実施セントスルトキハ其楽曲及楽器ノ種類教員ノ学力履歴教授ノ方法順序等ヲ伺出シメ以テ之ヲ精査セントスルヲ以テナリ

(中略)

十一月五日官公立学校学生生徒ニシテ退者セシメタル者ノ内其違犯ノ情状重キモノハ悔悟ノ実跡ヲ得ル迄官公立学校へ入学禁止スヘキニ付官省院府県等ニ於テモ三ヶ年間採用セサル様

示達アランコトヲ上請シ裁可ノ内達ヲ得○八日戸長及学校職員身分同等ニシテ諸般ノ措置同一ニ出テサルヲ以テ右席順ノ儀内務卿ト連署ヲ以テ申稟セシニ第四十九号ヲ以テ太政官ヨリ達セラレタル旨内閣書記官ヨリ通牒アリ○十五日本月二日達退学者処分方ノ旨趣ヲ大坂^(マヤ)中学校東京師範学校東京女子師範学校ノ規則中ニ予メ明記スヘキ旨及其手續ヲ該三校へ照会ス

(中略)

本省及ヒ直轄部局職員ノ事

一月四日文部卿福岡孝弟病氣療養ノ為メ伊豆熱海ニ発程ニ付不在中大藏卿松方正義代理仰付ラル

六月一日文部権少書記官高橋健三ニ官報報告掛長兼勤ヲ命ス十二月十二日参議大木喬任文部卿ニ兼任シ参議兼文部卿福岡孝弟兼官ヲ免ス

本年本省職員ノ現数ハ勅任一名奏任十五名准奏任六名判任百三十七名准判任四十九名等外二十名雇四十一名計二百六十九名ナリ又直轄部局職員ノ現数ハ勅任一名奏任四十六名准奏任十九名判任百九十四名准判任百十六名等外三十四名雇百四十名計五百五十名ナリ之ヲ前年ニ比較スレハ奏任ハ本省二一名直轄部局二二名ヲ増シ准奏任ハ本省二二名ヲ減シ直轄部局二十一名ヲ増ス判任准判任ハ本省二二三三名直轄部局二四十三名ヲ増シ等外ハ本省二二名直轄部局二三名ヲ増シ通計本省及ヒ直轄部局ニ職員ノ増加六十四名ナリ

(中略)

直轄部局教規ノ事

(中略)

七月五日法学部中別課法学科ヲ設ケ生徒ヲ募集スルノ議ヲ決ス
是レ従来法学科卒業ノ者甚タ少ク社会ノ急需ニ応シ難キヲ以テ
医学部ニ倣ヒ簡易ノ学科ヲ置キ許多ノ法学者ヲ育成スルノ目的
ヲ以テナリ

八月二日古典講習科官費生ハ毎学年ノ始メ前兩期ノ成績ニヨリ
改選スルノ成規ナリト雖モ自費生中本期ノ成績官費生二期ノ成
績ニ比シ中等以上ニ上ルモノ一兩名ニ限り定員外特ニ官費ヲ支
給スルコトヲ定ム是甲部第二期ノ始ニ於テ欠員補充ノ為メ
入学セシ生徒中本期試業ニ於テ其成績或ハ従前ノ官費生中等以
上ニ上ルモノアルヲ以テナリ○十四日従前学生ニ給付セル実地
研究旅費及薬価納付ヲ免除シ並現行規則実施以後モ実地研究旅
費等ハ給費生自費生ヲ論セス渾テ官費支給ノ事ニ決ス○二十日
法学部及理学部化学科工学科課程ヲ改正ス

九月八日給費規則ニ拠リ次学年中法理文学部及予備門本費ニ於
テ褒賞給費金ヲ給与スヘキ人員(法学部五入理学部八入文学部
五人予備門本費六人)ヲ定ム

十月十二日理学部各学科課程中ヲ改正増補ス

十二月三日理学部博物館規則第六條篤志者觀覽ノ日時割ヲ改正
ス○十一日予備門本費一覽第十一條及第三十二條ニ但書ヲ増加

シ第四十四條ノ次ニ褒賞給費ノ一款第四十五條第四十六條ヲ新
設ス○二十八日法学部別課法学科規則ヲ制定ス 給費規則第八
條給費金給与期限ヲ修正ス

〔明治十六年文部省事務報告〕
書全 2A, 35-5, ①1517